



## 野球部大活躍！

### 秋季東北地区高等学校野球県大会準優勝 秋季東北地区高等学校野球大会ベスト4



宮城県大会では大崎中央高校に勝ち決勝進出を決め、仙台育英高校に負けて準優勝という結果でした。東北大会では、弘前東高校、秋田修英高校に勝ち、準決勝に進出し、盛岡大学付属高校に負け東北大会ベスト4でした。

野球部主将 2年 高橋 寛太 (三本木中出身)

### 全日本合唱コンクール宮城県大会金賞 第1位 宮城県知事賞受賞 東北大会出場 NHK全国学校音楽コンクール宮城県大会 銅賞 第5位入賞



「全日本合唱コンクール東北大会に出場して」

県大会では金賞、そして県知事賞（最優秀賞）を受賞し東北大会出場と信じられないような結果となった。東北大会でさらに精度を高められるよう練習を重ね銀賞を受賞。諦めずに努力することの大切さを学んだ。後輩たちには新たな歴史の2歩目を歩んで欲しい。 3年 佐藤 優衣 (古川北中出身)

## 文芸部の活躍

全国高等学校総合文化祭  
文芸部門 (俳句) 宮城県代表

去る8月7日から私は「2018信州総文」に参加してきた。みやぎ総文では案内役だったが、今回俳句部門県代表として参加できたことは、まさに感無量である。講師は、俳人・神野紗季先生。参加した生徒は皆様にレベルが高く、感嘆を禁じ得なかった。更に全国から集まった方々との交流はとても楽しく、まさに文学の素晴らしさを全身で感じた4日間であった。

3年 佐々木 太慈 (涌谷中出身)

北海道・東北文芸大会出場

新井 朝也 (2年)  
高橋 梨咲 (1年 鳴子中出身)  
長谷川 瑠太 (1年 中新田中出身)

私は全国高文連北海道・東北文芸大会に県代表団体枠で散文分科会に参加した。事前課題の「百五十年」をテーマとした短編小説の評価を松村英子氏より賜り、更に班の中から最も優秀な作品を選出し、プレゼンを行った。奇想天外、独自の世界を精緻に描いている同世代の作品に出会えたことは何よりの収穫であった。

2年 新井 朝也 (古川中出身)



# 将棋部の活躍

宮城県高等学校将棋新人戦

- B級1位 篠原 滉平 (1年)
- 6位 大柳 蓮斗 (2年 田尻中出身)
- 7位 高橋 祐治 (1年 古川東中出身)

「将棋新人戦について」

11月10日に将棋新人戦があり、最後まで粘り強く対局した結果、優勝することができました。日々の部活動での成果が実り、とても嬉しく思います。これからは、東北大会出場を目標に日々の部活動に励みたいと思います。

1年 篠原 滉平 (古川東中出身)

# 陸上部の活躍

全国総合体育大会

- 三重インターハイ出場 (400m 400mH)
- 全国高等学校陸上競技選抜大会 第4位 (300mH)
- 国民体育大会陸上競技出場 (400mH)
- U18日本陸上競技選手権大会出場 (400m 400mH)

「インターハイを終えて」

入部した当時は、インターハイまで進めるなんて全く思っていなかったので、全国で戦えたことはとても良い経験になりました。本当に沢山の応援ありがとうございました。

3年 奥山 小冬 (中新田中出身)

## 東北高等学校選手権大会 水泳競技大会出場 200m個人メドレー

東北大会に出場したことは、私にとってとても良い経験になりました。他県の選手の雰囲気や泳ぎなど、学ぶこともたくさんありました。今後は、さらに上の大会を目標にして練習に取り組んでいきたいと思います。

1年 荻原 壮太 (古川南中出身)

東北高等学校新人陸上競技出場

- 円盤投げ 荒井 啓希 (2年)
- 砲丸投げ 石山 凌也 (2年 古川中出身)

「東北新人大会に出場して」

私は男子円盤投げで宮城県3位で東北新人大会へ出場しました。中学では短距離を専門としていたのですが、高校からこの競技を始め、まだまだですが練習の成果を出すことができました。この大会には二人出場しましたが、この結果に満足せず部全体で高みを目指して頑張っていきます。

2年 荒井 啓希 (古川中出身)



# ソフトボール部2年連続東北大会 優勝 国民体育大会第3位



ソフトボール競技少年男子 国民体育大会出場

- 3年 高橋亮作 (古川南中出身)
- 梁川大空 (田尻中出身)
- 2年 木田風真 (古川東中出身) 早坂佳将

私達ソフトボール部は2年連続東北大会優勝、そして国体3位という成績を取ることができました。今までの練習の成果を出し切ることができたと思います。応援ありがとうございました。

2年 早坂 佳将 (小野田中出身)



2018.10.2